



第12回 万古祭協賛作品展



しでがの通信
第 62 号
羽津小 P・T・A
編集発行
発行所 羽津小学校

目	
	次
PTA会長挨拶	1
学校長挨拶	2
人事異動	3
新任挨拶	3
教師の願い	6
職員組織	9
昭和五十三年度役員	11
専ら部だより	10

再任について思う

PTA会長 篠田 勇

皆様のご推挙に依りまして、私
が又も会長の大役をお引受けする
事に成りました。

私は未熟で不肖な者であります
が、お引受け致しました上は、役員様
を初め皆様方のお力添えを頂きな
がら一生懸命努力致しますので何
卒よろしくお願い致します。

本年度 再任に当りまして、本校
PTAについて常日頃考えており
ますことを、会員の皆様に申し上げ
て、ご協力をお願い致します。

私は学校教育の中心になるものは
何といっても、よい先生に尽きる
と考えて居ります。

子供や親が、先生方を尊敬し信頼
してこそ、教育の成果は上ってい
くものと信じます。

PTA活動のあり方について、色
々といわれていますが、せんじつ
めれば、その学校の先生方に子供
達の指導や学級経営が正しくスム
ーズにして頂ける様にすること、
此の様な条件造りがPTA活動の
第一目標であると考えます。

そこで私としては、本校の先生方
に教師として正しい権威を確立し
て頂ける様、お願い致します。

教師への信頼と尊敬がなければ教
育は成り立ちません。先生方を大
事にすること、つまり子供を大事
にすることに通じるのです(甘や
かすことではありません)。

次にPTA活動を盛んにしていく
についてお互いが正しい情報を流
し合い知らせ合って共通理解を持

こんな子供に



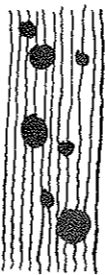
校長 村上 忠夫

つことが大切だと考えます。PTAの会合や行事には、色々な理由でご出席できない会員の方々もありません。いつも出席される方々だけが知っていて、それだけで事を運ぶというのではなく、欠席された方々も実情を知って頂き、皆様の関心と意欲の上に立って、PTA活動を進めていきたいものです。その様な意味で今年度はPTAの広報活動に力を入れたいと思います。

又役員の方々も仕事を分担して委員さん方と顔を合わせ、話し合える様組織づくりも考えたいと思っておりますのでご協力下さい。皆様方会員の方からの声もどんどん聞かして頂き、その趣旨を活動の中で正しい形として発展させていきたいと思っております。

皆様と共に「明るく楽しく何でも言える、こだわりのないPTAづくりに」努力していきたいものと願っておりますのでよろしくお願ひ致します。

学校の先生方も、今迄述べました様な趣旨にご賛成下さいましてよい知恵を借して頂きお互いに成長していける様、ご協力の程お願ひ致します。



風薫る初夏の好季節となって参りました。平素は、学校教育のため格別のご援助、ご協力を賜わりまことにありがたく、厚くお礼申しあげます。

ご承知のように、本校は児童数が年々増加しており、本年度は、一三一人となつて市内小学校中、第一の大きな学校となりました。おかげで、すでに校舎の鉄筋化も完了し、松、桜、楓の名木の緑に囲まれ、落ち着いた静かな環境に恵まれた学校であります。

地区にはまた、山あり、台地あり、平地も海もあつて、自然条件にきわめて恵まれていること、農・工・商の基幹産業をはじめ、各種の生産、消費活動が幅広く調和して見られ、人間生活に必要な衣食住のすべてにわたつて大四日市市の縮図が当羽津地区に見られるのではないかと思います。

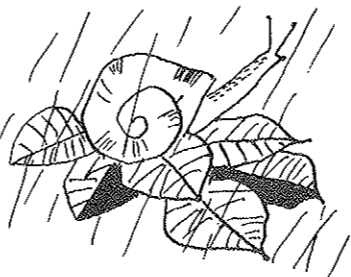
それだけに、子どもたちに自然や、社会を正しく見る目を育てるのに必要な教育素材が豊かに存在しています。自然や社会の生きた教材に恵まれるということは、教育にとってまことに幸いなことで

す。

戦後三十年の教育が見直され、「豊かな人間性を培う教育」を指向して、教育課程が改訂され昭和五十五年度から実施されようとしております。新しい教育課程の中でいっそう強調し、留意しなければならぬ事項として教育課程審議会では次のように述べています。

- ・ 知・徳・体の調和のとれた人間性を豊かな児童、生徒を育成する。
- ・ 自ら考える力を養ひ創造的な知性と技能を育てること。
- ・ 強靱な意志力を養ひ自律的な精神を育てること。
- ・ 自然愛や人間愛を大切にす豊かな情操を養うこと。
- ・ 正しい勤労観を培うこと。
- ・ 社会連帯意識や奉仕の精神に基づく実践的社会的性を培うこと。

- ・ 健康でたくましい身体の鍛錬に努めること。
- ・ 家族、郷土、祖国を愛するとともに、国際社会の中で信頼と尊敬を得る日本人を育成すること。



次に、羽津小学校の子どもたちにとって必要なことは何かということ、子どもたちにもわかることと、本年度の目あてを決めました。

◎ こんな子どもになろう

- ・ よく考え、進んで学ぶ子ども。
- ・ やる気をおこし、しごとに打ちこむ子ども。
- ・ ねばり強く、力いっぱいがんばる子ども。
- ・ 自然に親しみ、からだをきたえる子ども。

さきにも申し述べましたように、教育条件に恵まれた本校で、目ざす児童像実現のために、専心努力したいと考えておりますれば、ご父兄の皆さまのいっそうのご理解、ご協力を切にお願ひ申しあげます。

人事異動

退職
校長 村木 明義
教諭 服部みさを
三村 恵子

転出
教諭 杉浦 洋子
みはと学園

転入
校長 村上 忠夫 教育事務所より
教諭 岩井千代子 富田小より
山本 文 富田小より

主事 太田 久子 鈴鹿市一ノ宮小へ
給食 川北 喬子 富田小へ
後藤 文子 三重北小へ
みはと学園
教諭 清水 善衛 三重北小へ

陽田 信子 常磐小より
平田 清則 中部東小より
小柴恵美子 中部東小より

桜井美佐子 中部西小より
市川 淳子 海蔵小より
岡田ふみ子 大矢知小より

伊藤 静子 大矢知小より
倉田喜美子 新任
石咲 晴美 新任
川瀬智枝美 新任
田中 久次 新任
給食 山本千香子 大谷台小より

服部 初美 海蔵小より
横山 康子 新任
みはと学園
教諭 山川 太門 山手中より
吉岡 くに 新任

新任挨拶

倉田喜美子
四月より新任として、羽津小学校にお世話になることになりました。

着任しまして、はや、二ヶ月も過ぎ去ろうとしております。ようやく、学校にも慣れたところ、です。四十三名のかわいい、元気一杯の子どもたちとともに、笑ったり、おこったり、楽しい日々を送っております。

まだまだ、目新しいことばかりですので、御迷惑をおかけすることと思ひますが、よろしく御指導下さいませようお願ひ致します。

岩井千代子
四月からお世話になっております。本校にまいりまして、私が感心しましたことは、子どもたちが、気持ちよくあいさつができることと、玄関には、すぐれた陶芸作品

伊藤 静子
このたびの人事異動によりまして、本校にお世話になりました。

学校をとりまく新緑の中で、伸び伸びと育っている子供たちの明るい姿、着任第一歩、校庭に踏み込めばすぐさまあちこちからの朝のあいさつ、本校の昨年度までの生活指導の徹底が感じられ、良い学校への転任、うれしく思ひます。

一日も早くなれて、羽津小の職員として、微力ながら、職務の遂行に励みたいと思ひます。どうぞよろしくお願ひいたします。

平田 清則
市内で最高の児童数をもつ本校へ赴任したとき、子供達が、運動場はうに及ばず中庭などあいている場所所狭しと

退職
校長 村木 明義
教諭 服部みさを
三村 恵子

転出
教諭 杉浦 洋子
みはと学園

転入
校長 村上 忠夫 教育事務所より
教諭 岩井千代子 富田小より
山本 文 富田小より

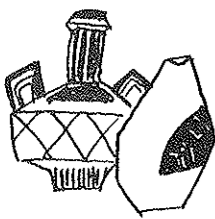
主事 太田 久子 鈴鹿市一ノ宮小へ
給食 川北 喬子 富田小へ
後藤 文子 三重北小へ
みはと学園
教諭 清水 善衛 三重北小へ

陽田 信子 常磐小より
平田 清則 中部東小より
小柴恵美子 中部東小より

桜井美佐子 中部西小より
市川 淳子 海蔵小より
岡田ふみ子 大矢知小より

伊藤 静子 大矢知小より
倉田喜美子 新任
石咲 晴美 新任
川瀬智枝美 新任
田中 久次 新任
給食 山本千香子 大谷台小より

服部 初美 海蔵小より
横山 康子 新任
みはと学園
教諭 山川 太門 山手中より
吉岡 くに 新任



遊んでいる様子を見て、遊び場が
少なくなかわいそうだなあと思った。
もっと広い運動場で、おもいき
り走ったり、鬼ごっこしたり、ボ
ール投げができるようにしてやれ
ないものか……と考えてもなかな
かいい案もでてこない。しかし、
何とかしてやりたい。

こんな思いも一年、二年とたつ
と慣れっこになり何も感じなくな
るだろう。そんなことにならない
ように、いつも新しい気持ちで失
わず教育に精を出していきたいと
思っている。

今後もご協力、ご指導をよろし
くお願いします。



この度の異動で、
大矢知典譲小学校
から転任して参り
ました。

緑豊かな環境で、育まれた伝統
ある羽津小への転任は、長い教員
生活の中でも 最高の喜びです。
また、担任の児童ひとりひとり
が素直であることも、嬉しいこと
の一つです。この上は、更に自主
性を身につけ、楽しんで、精いっ
ぱい努力できる子に——と、願
っている昨今です。

無力な者ですが、力いっぱい励
みたいと存じます。よろしく御指
導下さいませようお願いします。

任は 懐かしさで一ぱいでした。



終戦直後 羽津
小で勤務した私に
とって 今回の転
任は

担任したクラスの中に、今も忘
れない三人のお父さんの名前を見
た時 PTA総会・家庭訪問で
「先生覚えてもらっていますか。」
とか「担任してもらった」という
声にぶつかった時、涙がでる程う
れしく思いました。今は講堂と、
陶器の窯と桜並木だけしか面影を
残していない学校ですが、過ぎ去
った当時のことを思い出して、教
育に専念したいと思っています。



本年四月より本
校に着任させてい
ただきました。

また本校にまいりまして 校内
の各所に展示されている陶芸作品
を拝見し さすが焼物の町の子
だくと立派な作品に感心しました。
先日家庭訪問ではじめて校区を

廻りました。山あり海あり工場あ
り さまざまの風景と、校区の広
さに驚きました。一日も早く地域
に馴染んで、羽津小の教育に邁進し
たいと思います。



この度、新採と
して羽津小学校に
勤務することにな
りました。

教師生活の第一歩を羽津小学校
という明るく立派な学校で踏み出
せることをうれしく思っております。

しかしながら、四日市という土
地、四十三名の受け持ちの児童、
彼らの中で、やっと卵からかえっ
たヒヨコが、悪戦苦闘しながら白
紙のページをうずめている毎日で
す。それ故、今後いろいろと御迷
惑をおかけすることがあると思ひ
ますが、どうかよろしくお願い致
します。

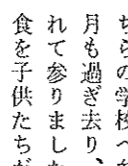


羽津小学校へ来
て無我無中の中で、
早や六月を迎えよ
うとしています。

もうすっかり葉桜になりさわやか
な初夏とも言いましようか、こ
ちらの学校へ参りましてはや二ヶ
月も過ぎ去り、給食の方も少し慣
れて参りました。私は、毎日の給
食を子供たちが、喜んで食べて
くれるように、精一杯心をこめて
作りたいたいと思っております。経験
未熟で、もっか修業中と言う所
です。先生、先輩の方のよきご指
導をお待ちしておりますから、よ
ろしくお願い致します。



ついこの間迄服
らみそめた桜のつ
ぼみが、今では、
もうすっかり葉桜になりさわやか
な初夏とも言いましようか、こ
ちらの学校へ参りましてはや二ヶ
月も過ぎ去り、給食の方も少し慣
れて参りました。私は、毎日の給
食を子供たちが、喜んで食べて
くれるように、精一杯心をこめて
作りたいたいと思っております。経験
未熟で、もっか修業中と言う所
です。先生、先輩の方のよきご指
導をお待ちしておりますから、よ
ろしくお願い致します。



今年度の異動に
より、大谷台小学
校からこの学校へ
参りました。

「給食のおばさん」と言われる
ようになってから、今年で四年目
です。まだ転動なんて考えて
もおりませんでした。



今年度の異動に
より、大谷台小学
校からこの学校へ
参りました。

市内で、一番大きな学校だと聞
かされておりましたので、未熟な
私に勤まるのかな、と心配でした。
しかし、他の皆さん方がよくして
下さいますので、今まで以上に頑
張ってやっていきたいと思ってお
きました。

最近、家庭訪問した事によって
地区の様子も少しわかりました。
子供の事を思われるやさしいお母
さん方に接し、今一段と責任の重
大さを痛感しています。



羽津地区が一望
できる高台、車の
騒音が少ない恵ま
れた環境、伝統ある羽津小学校に
巡り合わせた事を嬉しく思います。
時間とのたたかいと、言われる
毎日。しかし、忙がしいはずま
せられない教育の場。この現実の
中で、ゆとりの心をもって児童に
接して行きたいと思ひます。

微力ですが最善を尽くしてと、
考えております。どうかよろしく。
市川 淳子



本校に着任させ
ていただいで早く
も二ヶ月たちまし
た。海蔵小から、ほんのお隣へ

一生懸命、この仕事を やりま
すので、どうか皆様方、よろしく
お願い致します。



新任のあいさつ
の紙上をお借りして、分校の紹介
をさせていただきますと思ひます。
分校では、ちえおくれの幼児五
名、小学生十八名、中学生七名、
計三十名が、元気に学習や訓練を
しております。



「おはよう」「さよなら」のあ
いさつ、服や靴の脱ぎ方、着方、
履き方、排尿の予告、トイレの使
い方、少しでもこぼすのを減らす
ための給食の訓練等々、毎日のみ
じかな、ごく基本的な生活処理の
訓練などが主な学習内容となりま
す。三年も四年もかかって、なお
できない子もいます。お話のでき
る子も三名、四名はいます。しか
し、お話ができないから、全てのこ
とが判らないということではあり
ません。こちらの言うことはよく判

「おはよう」「さよなら」のあ
いさつ、服や靴の脱ぎ方、着方、
履き方、排尿の予告、トイレの使
い方、少しでもこぼすのを減らす
ための給食の訓練等々、毎日のみ
じかな、ごく基本的な生活処理の
訓練などが主な学習内容となりま
す。三年も四年もかかって、なお
できない子もいます。お話のでき
る子も三名、四名はいます。しか
し、お話ができないから、全てのこ
とが判らないということではあり
ません。こちらの言うことはよく判

の移動でしたけれど、こんなに大
きな学校は初めてで、正直のこ
ろ不安な気持ちいっぱい羽津小
の門をくぐったのでした。しかし、
先輩の先生方の暖かいご指導と、
明るくのびのびした子供達のおか
げで、その不安もすっかり消えて
しまいました。この子供達を、一
層豊かな人間に育てるために、今
後は、ご父兄ともよく話し合っ
ていきたいと思っております。
羽津小学校への仲間入り、よろ
しくお願いいたします。



緑で一っぱいの
羽津小学校へ 転
任させていただきます

ました。私は五六年の音楽の教師
として、音楽を心の糧に 美しい
心と思いやりのある子供に育てて
いきたいと思ひます。すばらしい
ハイモニーのオーケストラも、自
分勝手なことをしてはこわれてし
まいます。

みんなが気持ちをそろえて 三重
県一の児童数の羽津小学校を、す
べての面で誇りの持てる羽津小学
校になるよう努力したいと、はり
きっています。何分よろしくお願
いいたします。

また本校にまいりまして 校内
の各所に展示されている陶芸作品
を拝見し さすが焼物の町の子
だくと立派な作品に感心しました。
先日家庭訪問ではじめて校区を



羽津小学校に勤
務し始めてから早
や二ヶ月が過ぎよ
うとしています。机に向っての仕
事はあまり経験がありませんので
慣れないことと連続に少々とまど
い気味。しかし一刻も早く皆さん
の役に立つようにならなければい
けないと、けん命に努力しており
ます。何かお気付きの点は、よろ
しく御指導下さい。

また本校にまいりまして 校内
の各所に展示されている陶芸作品
を拝見し さすが焼物の町の子
だくと立派な作品に感心しました。
先日家庭訪問ではじめて校区を



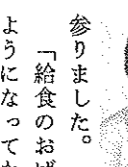
羽津小学校に勤
務し始めてから早
や二ヶ月が過ぎよ
うとしています。机に向っての仕
事はあまり経験がありませんので
慣れないことと連続に少々とまど
い気味。しかし一刻も早く皆さん
の役に立つようにならなければい
けないと、けん命に努力しており
ます。何かお気付きの点は、よろ
しく御指導下さい。

また本校にまいりまして 校内
の各所に展示されている陶芸作品
を拝見し さすが焼物の町の子
だくと立派な作品に感心しました。
先日家庭訪問ではじめて校区を



羽津小学校に勤
務し始めてから早
や二ヶ月が過ぎよ
うとしています。机に向っての仕
事はあまり経験がありませんので
慣れないことと連続に少々とまど
い気味。しかし一刻も早く皆さん
の役に立つようにならなければい
けないと、けん命に努力しており
ます。何かお気付きの点は、よろ
しく御指導下さい。

また本校にまいりまして 校内
の各所に展示されている陶芸作品
を拝見し さすが焼物の町の子
だくと立派な作品に感心しました。
先日家庭訪問ではじめて校区を



今年度の異動に
より、大谷台小学
校からこの学校へ
参りました。

また本校にまいりまして 校内
の各所に展示されている陶芸作品
を拝見し さすが焼物の町の子
だくと立派な作品に感心しました。
先日家庭訪問ではじめて校区を

つてくれますし、なんらかの方法で要求をだせる子もずい分います。この頃、園外へよく出ます。歩行の訓練と、少しでも経験、見聞を広める目的で行なっています。そんな時、出逢われた方は、明かるとい笑顔で、「こんにちわ」のこばかけをしてやってください。

教師の願い

担任としての願い

一年生担任一同

△だれとでも仲よくできる子に▽
 家庭では、だれとでも仲よくできるような子供でも、四十人もの集団になると、なかなかうまくいかない。自分本位で、何でも主導権を握ろうとしてぶつかり合う。人の意見など聞かず、すぐ暴力をふるう。がまんすることがない。やがて、親たちが心配して「隣の席の子がいじめるので席を替えてほしい。」「○○ちゃんと遊ばせないで。」と注文し始める。
 しかし、このような子供を避けていたのでは、いつまでたっても本当にたくましい子供には、育たない。本当にりっぴな子供にするには、友達どうし互に触れ合い、ぶつかり合い、やがて励まし合い、助け合える友達関係を作ることである。
 △がんばりぬく子に▽
 子供の力は、やらせることによって伸びるものである。
 「どうも、うちの子は、整理整頓がへたで。」という言葉をよく聞か、子供がやろうとしたとき、そばで見ている、もどかしくなって大人が手を出したりしていいのだろうか。
 「子供がやったら、やり直さないといけないから、私がやってみます。」という人もある。
 いくらへたでも、子供の納得いくまで、大人は、しんぼう強く待ってやる努力をしなければ、いつまでたってもうまきはならない。

一七年の学園の存在が、暖かくなつかしい思い出として残ってほしいものだ念じています。そのためにも、十五名の職員は毎日、他の学校の先生や施設の職員に勝さるとも劣らない努力をしているつもりです。残りわずかな期間ですが、暖かいまなざしで「みはと学



園を見守ってください。

人に手伝ってもらわないで、自分だけで苦勞してやったりあげたときの成功感、何ともいえないうまいものである。
 鉄棒の前回りができた。なわとびができるようになった、本を終わりで読んで読んだ……などの喜びを心から喜んでやっているといるだろう

か。「なあんだ。そんなことあたりまえ」というような態度をとったら、もうそんな勉強は、やらないう子になってしまうであろう。大人から見るとあたりまえのことでも、子供はたいへん努力をしているのである。

家庭でのしつけと

学校生活

二年担任一同

家庭訪問も終わりましたがその時、担任からお子様の学校での様子をお聞きになったと思います。
 特に、問題になる行動は、多くは家庭での生活が原因といわれています。そこで、問題行動のあるお子様を少しでもよくするために、次の資料(教育雑誌から転載)を参考に、学校と家庭で協力していってらると思っております。

批判する。 ▲テストの点数にこだわる。	○ごまかしやうそをいう。 ○神経質でいつもびりびりしている。 ○友達を批判したり、つげ口をする。	げます。 ★点数にこだわらない。 ★どこがまちがったかをおしえて、がんばるようにはげます。
▲家庭不和 ▲きょうだいの仲が悪い。	○友達をいじめる。 ○落ち着きがない。 ○いつもおどおどして、情緒不安定。	★家庭の問題を早く解決する。 ★家族が仲よくして、明るい家庭をつくる。

教師の願い

三年担任一同

三年生の担任となって、一日も早く学級の実態をつかみ、学習は教師中心から児童個人による自主的な学習を身につけさせたいと念じている。学習のしかたについて次のようなことを考えている。
 (1)積極的な学習のしかたを身につけさせる。
 三年生は、自主性や積極性が著しく伸びる時期である。したがって、教師からこまかい指示を受けて学習するだけでなく、自分なりの解決をしようとするような取り組み方をさせたい。
 (2)基礎力をつける学習のしかたを身につけさせる。
 三年生では、新出漢字が多く、

教師の願い

四年担任一同

最近、子どもを見て思うことは、自分さえよければよいという子どもも、自分にあまく、他人にきびしい子どもが案外多いということだ。友達はまだそうじをしているけれど、自分は終わったから遊び

▲過保護。 ▲あまやかす。 ▲親がすぐ手助けをする。	○依頼心が強い。 ○困難にぶつかると、すぐに投げだす。 ○自分の思うようにならないと大声でわめく。 ○身のまわりの始末ができない。(だらしない)	★時間がかかっても、最後まで自分でやる。 ← 自分で行った成功の喜びを味わわせる。
▲きびしすぎる。 ▲子供ませにする。 ▲愛情がたりない。 ▲子供をつき放してしまふ。	○忘れものが多い。 ○いたずらが多い。 ○落ち着きがない。 ○きまりを守らない。 ○集団からはみだし、自分勝手に行動する。	★よく話を聞いてやる。 ★できるだけ、子供とふれ合う時間を持つ。 ★帰宅したとき必ず声をかける。
▲口うるさくいう。 ▲しかるとき、くどい。 ▲しかるとき、感情的になる。	○いわれないと何もできない。 ○注意してもききめがない。 ○ぼんやりしている。 ○反抗的。 ○無口でやる気がない。 ○表現力、想像力がとぼしい。	★必要なことだけいって、子供を信用する。 ★悪いときはきびしくしかり、長ながと小言をいわない。
▲競争意識が強い。 ▲よその子と比べて、	○型にはまって、おもしろみがない。	★その子の長所を見つけて、ほめたり、は



年組	担任名	町担任
一	溝口 保子	別名一
二	大河内そと	別名一
三	筒井 和子	別名二
四	山田 芳枝	別名二
五	高橋てる子	別名三
六	鏡味 隆雄	別名三
一	倉田喜美子	大宮南
二	岩井千代子	大宮北
三	伊藤 静子	金 場
四	広瀬 松代	別名四
五	平野 隆子	別名五
六	平田 清則	別名六
一	東 照代	羽津山東
二	水谷 敏夫	羽津山東
三	岡田ふみ子	城 山
四	長谷部規子	羽津山西
五	平子伊都子	大宮東
一	森 昭雄	羽津二
二	隅田 信子	羽津三
三	菊村 文子	羽津中
四	小柴恵美子	大宮西
五	石咲 晴美	大宮南
一	門脇 秀雄	霞・白須賀
二	川瀬智枝美	富 士
三	伊藤 美穂	八田一・二
四	桜井美佐子	八田三
五	安藤 勤	羽津一

年組	担任名	町担任
一	川村 審也	山 手
二	市川 淳子	山 手
三	小谷 博美	いかるが
四	小林 秋次	いかるが
五	松井 妙	別名四
専科	中林 るみ	いかるが
	山本 文	緑ヶ丘東
	内山 治男	緑ヶ丘西
養護	伊藤 光子	
主事	田中 久次	
給食	伊藤 栄美	
	大河内サト	
	伊藤としゑ	
	山本千香子	
	服部 初美	
	横山 康子	
用務	水谷富美子	
事務	川合 淳子	
給補	川田 幸子	
休職	矢田 木角	
教諭	みはと学園	
	山川 大門	
	中瀬 幸春	
	森田 里美	
	吉岡 くに	

職員組織

に行く。友達はやりがわからなくてこまっているが、自分はわかっていからどんだんにやってくる。友達に注意しながら、すぐそのあとで自分も同じことをしている。このような場面によく出会うのです。

教育とは、特に小学校の教育は、人間の基礎を養うことだと思ふのです。だから、子どもたちには、毎日の友達や教材との関わりの中で、友達に対するやさしさや思いやり、そして自主独立の精神を身につけてほしいのです。

この一年間、ごく短い期間ではありますがありますが、この時は決して再びこないというのを肝にめいじて、子どもと一体になって、学習に生活にせいいっぱいがんばりたいと思っております。

学校は人格尊重の場として

五年担任一同
学校は、本来愛情・尊敬・信頼・秩序などが支配し尊重されるべき場である。人格の相互尊重は教育の前提条件ともいえる。デュロイの言葉をかりれば「学校は純化された社会だ。」といっている。現代社会は、憎悪・敵意・不信混乱の様相が進んでいることを否定するわけにはいかない。

もちろん学校だけが社会の影響に無関係であり得ない。学校としてその原因が皆無であると断言できない。

したがって、真に子どもたちの幸福と、人間性豊かな成長を願うならば、現代社会の構成者であるわれわれ大人は、子どもたちの属する社会即ち、家庭・学校・地域社会の浄化をはかると共に、責任の転嫁をやめ、それぞれの立場から改善の努力と勇気を持たなければならぬ。

家庭学習について

六年担任一同
お母さん方と話をすると、「勉強をしないで困ります。どうしたらいいのですか。」という質問にあうことが多いのです。そこで、家庭学習について私達の考えをのべてみます。

私も教師からみていますと、よくできる子供は、自分でどんどん育っているように見えます。教室で、生活上のことや学習について話をするとき、いちばん熱心に聞いているのは、すべて希望どおり生活しているような子供達です。そして、こういう子供達こそ聞いてもらいたいというような子供は、隣の子と話をしたり、いたず

らをしています。万事この調子でできる子は何でもどんだん吸収し育っていきます。格差は大きくなっていくのです。伸びる子供は自分で伸びていくのです。

自分で自分を伸ばす力の基礎を養うということは、子供を「しっかりした子供」に育てるといこうと——子供の「人間」をつくるということなのです。

それでは家庭学習はどのようなさせたらよいのでしょうか。八とにかく勉強にとりかかれV机に向かったらペンをとれ、そして、教科書のいま習っている課のタイトルを書く、習ったことを思いだして書いてみよ、目をつむって習ったことを順々に思い出し、と軌道にのせることです。

「どうも気分がでない。」「やる気がしない。」「勉強のしかたがよくわからない。」そんな子供には、

「とにかく机に向かい、勉強にとりかかりなさい。教科書を読むだけでよいのです。読むのがすんだら、一課の終わりの問題をやってみなさい。学校で一度やったことでも、もういっぺん、答えをみないで、紙に書きなさい。」きっぱりこういって机に向かわせることです。

母の日に思う

別名二丁目 清水 頼子
今年も赤いカーネーションを胸につけた子供達を、あちこちでみかける頃となりました。毎年のことながら、いつもさわやかな気分にはさせられます。ふと、私の子供の頃の事を思い出しました。

物資のない時代で、母は自分の着物をこわしては、私の洋服をよく縫ってくれました。又、食べ物も充分になく、お菓子や果物など高嶺の花ノ食べ盛りの私達三人に時たまさずかお菓子など一瞬間の間になくなってしまいました。

平凡でやさしい働き者の母でしたが、礼儀作法には厳しく、女の子がお行儀悪い、とよく叱られました。そのたびに「うるさいお母さん、母になったら子供達には何も言わないわ」と子供心に反抗していたものでした。

今、その当時の母と同じ年代になった私。毎日から晩まで子供達に「早くごはんを食べなさい」「お行儀悪い」「テレビばかり見ていないで、早く寝なさい」と口うるさい私です。

母と同じ事をやっている自分に苦笑しています。幸い私の母は健在で毎年母の日には形ばかりのプレゼントで気休めにしている私ですが、心の中ではいつも「お母さん、ありがとう。長生きしてね」と叫んでいるのです。

昭和五十三年年度

役員

本部役員

会長 篠田 勇 白須賀
 副会長 森 憲一 羽津一
 書記 伊東 礼子 羽津一
 書記 小川 良二 羽津二
 監査 森 和一 別名一
 監査 福山 秀郎 城山
 学校側 石田久美子 羽津山東
 村上校長・小塚教頭
 森・松井

専門部部長

文化 服部 一二 別名四
 福祉保健 森 源八 城山
 環境整備 土井 米一 羽津山
 安 全 藤井 久子 城山
 安 全 藤井 薫 大宮南

学年代表

一年 奥岡 辰男 大宮西
 二年 藤井 善弥 大宮西
 三年 掛下 八郎 山手
 四年 小川 進吾 八田二
 五年 藤井 薫 大宮
 六年 服部 一二 別名四

町代表・町委員

霞ヶ浦 木村 淑郎 小林 義忠
 白須賀 九鬼 咲美 小林 義忠

富士 早川 和宏 谷口 雄二
 金 場 小川了三郎 榎原 純宏
 城山 森 源八 松永 文夫
 藤井 定 山本 善一
 近藤 正美 渡辺 泰範
 羽津一 内田 茂生 廣瀬 武司
 羽津二 生川 英史 藤井 孝雄
 羽津三 平野 清 箸中 一
 羽津中 中嶋 亨 長谷川昭三
 羽津山 谷口 広陸 竹内 保行

別名二 館 智男 河村 春郎
 別名三 細谷 明宏 榎野 勝三
 別名四 村上 幸吉 奥田 義男
 別名五 葛西 明 森 重夫
 山手 光木 哲夫 山口 正彦
 後藤 宗博 高橋十一郎
 加藤 憲一 大森 治彦
 木下 公子 岩崎 武彦
 河野 昌也 伊藤 隆行
 藤井 哲夫 坂 卓夫
 坂 卓夫 田中 和男
 林 正敏 小松 吉司

川上 勇 村上 勝
 藤井 庄三 別名三
 酒井 善弥 大宮西
 清家 忠男 羽津山
 中村 勝俊 別名二
 平田 半一 八田一
 水谷 真吾 別名四
 高井 清博 別名六
 中久木武史 大宮北
 上田 隆男 別名一
 坂口 武夫 緑ヶ丘
 酒井 徹 山手
 池内 勇 大宮北
 佐々木俊彦 緑ヶ丘
 森 幸三 別名一
 森 一孝 別名二
 土井 米一 羽津山
 出口 栄三 別名一
 掛下 八郎 山手
 柳川 優 別名四
 市岡 増也 羽津山
 服部 香苗 別名二
 小林 清孝 緑ヶ丘
 味香 祥平 大宮東
 溝口 隆蔵 別名五
 鈴木 昭二 別名二
 青木 八郎 大宮北
 城田 栄 大宮南
 藤井 明 山手
 小川 進吾 八田二
 河瀬 良弘 別名一
 一圓 猛 緑ヶ丘
 福永 立吉 別名二

谷口 雄二 伊平 伊宏
 松永 文夫 純宏
 山本 善一 定
 近藤 正美 渡辺 泰範
 廣瀬 武司 藤井 孝雄
 箸中 一 長谷川昭三
 竹内 保行 服部 照明
 赤塚 勝美 内田 正勝
 内田 宣吉 青山 長久
 福田 角雄 高士 三男
 加藤 己喜 辻 征男
 大空 保夫 位田 清治
 館 博 森 幸輝
 山本 実 伊藤 照秋
 小原 亮二 津滝 吉和

別名二 館 智男 河村 春郎
 別名三 細谷 明宏 榎野 勝三
 別名四 村上 幸吉 奥田 義男
 別名五 葛西 明 森 重夫
 山手 光木 哲夫 山口 正彦
 後藤 宗博 高橋十一郎
 加藤 憲一 大森 治彦
 木下 公子 岩崎 武彦
 河野 昌也 伊藤 隆行
 藤井 哲夫 坂 卓夫
 坂 卓夫 田中 和男
 林 正敏 小松 吉司

川上 勇 村上 勝
 藤井 庄三 別名三
 酒井 善弥 大宮西
 清家 忠男 羽津山
 中村 勝俊 別名二
 平田 半一 八田一
 水谷 真吾 別名四
 高井 清博 別名六
 中久木武史 大宮北
 上田 隆男 別名一
 坂口 武夫 緑ヶ丘
 酒井 徹 山手
 池内 勇 大宮北
 佐々木俊彦 緑ヶ丘
 森 幸三 別名一
 森 一孝 別名二
 土井 米一 羽津山
 出口 栄三 別名一
 掛下 八郎 山手
 柳川 優 別名四
 市岡 増也 羽津山
 服部 香苗 別名二
 小林 清孝 緑ヶ丘
 味香 祥平 大宮東
 溝口 隆蔵 別名五
 鈴木 昭二 別名二
 青木 八郎 大宮北
 城田 栄 大宮南
 藤井 明 山手
 小川 進吾 八田二
 河瀬 良弘 別名一
 一圓 猛 緑ヶ丘
 福永 立吉 別名二

別名一 金子 泰彦 津滝 吉和
 山本 実 伊藤 照秋
 小原 亮二 津滝 吉和
 大宮西 駒田 末広 森 幸輝
 大宮北 伊藤 富郎 位田 清治
 大宮 伊藤 富郎 位田 清治
 大宮西 駒田 末広 森 幸輝
 別名一 金子 泰彦 津滝 吉和

学級委員
 前川 圭佑 別名一
 鬼頭 洋二 羽津山
 森 輝夫 別名四
 山下 寿士 羽津山
 廣瀬 利夫 別名一
 中山 昭 山手
 稲垣 正美 別名一
 奥岡 辰男 大宮西
 平谷 次郎 大宮西

十一月 料理教室
 十二月 クリスマス お正月
 月々のお花の講習会
 尚、右記行事以外に、皆様方より良い御意見がございましたら、出来るだけ取り入れたいと考えていますので、色々な機会をとらえて、連絡して載せたいと思います。どうか皆様方の御協力と御指導を、よろしくお願い致します。

専門部だより

年度初めにあたって

福祉保健部長 森 源八
 今年で二回目の町代表を仰せつかり、子供の育成に、今一度反省と、努力の機会をあたえられま

したが末娘も、六年生になり、最後の小学校生活に、親としても、一層のPTA活動に、参加協力させて頂かねばならぬと思います。

先般行なわれました、各専門部会では、はからずも、部長の名を汚すことになり、恐縮に存じて居ります。

第一回の部会に於いて、協議されました事業内容は、次の通りですが、大体例年により行われて居ります。

給食試食会の開催
 パザー共催
 球技大会

等計画致しましたが、会員の皆様方で、この他、色々ご意見を、出して頂き、「こんな事をやったらどうか」といった具合に、何かと、ご協力を賜ります様、お願いを致しますが、どうか、今年のとと存じます、何かと至らぬことと存じます、良くやっていると

皆様から、大いにご協力賜りますよう、私共部員一同、一層努力致す所存でありますから、重ねて、お願い致します。

母親部
 部長 藤井 久子
 長女を二年前に中学へ送り、今年末娘を、一年に入學させて戴きました。PTA活動本来の意義を理解しないままに、今日に至りました自分を、反省し、後悔しています。

こんな私に、母親部長と言う大役を課せられました。力一杯、努力させて戴きます。

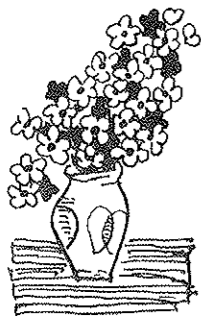
さて本年の母親部の行事は、左記のように予定をしております。各行事の詳細につきましては、別の方法でその都度、連絡させて戴きますので、多くの皆様の参加を、お願い致します。

五月 給食試食会 (福祉保健部と共催)
 六月 料理教室
 七月 家庭教育学級 (文化部と共催)
 九月 食品工場見学
 十月 パザー (福祉保健部と共催)

安全部
 部長 藤井 薫
 新学期を迎へ、五十三年度専門部活動が、始まりました。一昨年安全昨年環境整備部長に引続き、今年度は又々、仕事の多い安全部長に指名され教養のない私には責任を感じております次第です。受けた以上児童の安全を守るため、がんばって行きたいと思っております。安全部部員の方々始めPTA会員全員の暖かい御支援御協力を、お願い致します。

五十三年度事業計画
 立哨委員会 六月
 交通ルールについて
 危険箇所調べ 七月中旬
 自転車点検 七月中旬
 (十二・十三・十四日の予定)
 交通安全教室 夏休み前
 かすみのプール補導とパトロール。八月の予定

田中 昭一 大宮東
 藤井 薫 大宮
 矢守 貞夫 羽津山
 藤井 泰 城山
 小井 久三 羽津山
 常盤井 十 羽津二
 海住 敏久 八田一
 宮田 暢夫 羽津山
 森 貢 別名四
 川村 勝 八田一
 稲垣 清祐 羽津山
 佐藤 新三 山手
 小林 幹尚 白須賀
 浜野 豊 富士
 黒田 国年 羽津中
 竹中 朋範 別名二
 片岡 修 城山
 広瀬 幸吉 八田一
 山田 佳良 羽津山
 服部 一二 別名四
 森 勇 別名四



去る五月十一日の第一回部会で決定しました。
特に夏休み前に行う交通安全教室には、PTA会員全員の出席を待ちしております。

文化部

部長 服部 一二一

才学非才、文学に暗い私がこのたび、文化部長と言う大役を仰せつかりました。この小さい体で一年間……。

不安な気持ちになりました。

先日、初めて部会に出席して、副部長さんのもとより、部員さん方、学識・経験豊かな、立派な人達に囲まれている事に気持ち安心致しました。

誠心誠意活動したいと思えます。会員の皆様、どうか御協力賜わりますようお願い致します。

一、「しでのが」四回発行
二、学習参観懇談会 六月・二

月

一、陶芸教室 八月予定
二、両親学級 講演会 十一月
予定

以上五月十八日の部会で年間行事予定を立案致しましたので、会員の皆様、奮って御参加下さいませよう、お願い申し上げます。



環境整備部

部長 土井 米一

環境整備部長という大役を引き受け、経験のない私共には、大変な、重責ですが、一年間、一生懸命務めさせていただきます。

各部署の方々始め、会員の皆様方と一緒に、少しでも学校のため、子供達のために、力を合せ 楽しい夢のある学校に近づきたいと思えます。

五十三年度の環境整備としましては、校舎も新しくなり、あまり問題は ないのですが、四季の花が、もう少し欲しいと思えます。

それと、例の夏休み最後の、日曜日の、草取りですが、部員さん、会員の皆様の 御協力をお願いします。

学校の環境は、もとより、何か記念に残るような仕事を、したいと思っております。

全員委員会だより

去る四月二十一日(金)午後二時より本年度第一回全員委員会が開催され、新年度本部役員が、次のように選出されましたので御報告致します。(敬称略)

会長 篠田 勇

副会長 森 憲一

書記 伊東 礼子

会計 小川 良二

監査 福山 秀郎

石田久美子

尚、この後 各学年代表さんを決定致しました。

第二回全員委員会は、五月十一日(木)午後二時より開催されました。この全員委員会では、

一、全体会

(1) 専門部所属についての説明と決定

(2) 専門部別会議について説明

二、専門部別会議

(1) 部長・副部長の選出

(2) 部員名簿の作成

(3) 活動計画の立案

常任委員会だより

第一回常任委員会が、四月二十四日(月)午後七時より開催されましたので、次の通り御報告申し上げます。

一、専門部の割り振りについて
二、総会準備について

一、について、各町代表・委員さん・学級委員さんを、五専門部に割り振りさせていただきました。

よろしくお願い致します。

尚、部長・副部長は、第二回全員委員会で、部員の皆様より互選していただくことになっていきます。

ですくさいど

◎ようやく、五十三年度第一号ができあがりました。

遅くなりましたが、お届けします。

◎学校長のお話にもありましたように、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童・生徒を、育成する主旨に基づいて、しでのがの編集部一同、頑張っけてゆきたいと思えます。

◎広くみなさんの声をききたいと思えますので、投書を歓迎いたします。子どもの事、学校の事、PTAやしでのがへの意見などお気軽にお寄せ下さい。

◎投書箱は給食室前廊下に入っておりますので、自由にお入れ下さい。

◎しでのがの第一号をお届けするにあたって、部員一同早朝より、会議室にて編集に取り組み、すばらしい、楽しいしでのがの作りにも若さをもやしています。一人でも多くの方に読んでいただけの事を信じております。